

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
第45回理事会議事録

1. 開催日時：令和3年5月26日（水）午後4時00分
2. 開催場所：東京都中央区晴海一丁目8番11号晴海トリトンスクエアオフィス会議室
3. 出席者数：理事総数 45名 出席理事数 40名
監事総数 2名 出席監事数 2名
4. 出席者氏名：名誉会長 御手洗 富士夫
理事 橋本 聖子、武藤 敏郎、布村 幸彦、河野 一郎、山脇 康、
荒木田 裕子、中森 邦男、谷本 歩実、横川 浩、
ヨーコ ゼッターランド、高島 なおき、河野 雅治、松本 正義、
麻生 泰、秋元 康、蛭川 実花、高橋 治之、津賀 一宏、泉 正文、
遠藤 利明、王 貞治、小山 くにひこ、東村 邦浩、渡邊 守成、
山下 泰裕、田嶋 幸三、多羅尾 光睦、中村 倫治、大日方 邦子、
齋木 尚子、佐々木 かをり、白石 弥生子、白波瀬 佐和子、高橋 尚子、
芳賀 美津枝、林 いづみ、日比野 暢子、靱井 圭子、矢野 晴美、
來田 享子
監事 塗師 純子、堤 雅史
(上記のうち、以下の理事及び監事はWeb会議システムにより出席)
理事 横川 浩、ヨーコ ゼッターランド、松本 正義、麻生 泰、
秋元 康、蛭川 実花、高橋 治之、津賀 一宏、王 貞治、渡邊 守成、
多羅尾 光睦、齋木 尚子、白石 弥生子、高橋 尚子、來田 享子
監事 塗師 純子

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり定足数の出席があったので、定刻、定款第33条第1項の規定に基づき代表理事（会長）橋本聖子氏が議長席に着き開会を宣し、本理事会はWeb会議システムを用いて開催する旨述べた後、挨拶をした。

その後議長は、本理事会の進行役として理事武藤敏郎氏を指名し、武藤敏郎氏はそれを承諾した。

その後進行役は、Web会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認された後、直ちに下記報告事項の報告に入った。

〔報告事項〕

1 大会の準備状況について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、まず、別紙資料1-1記載のとおり、新型コロナウイルス感染症対策について、令和3年4月28日より順次、各ステークホルダーに対してプレイブック第

2版を発信した旨報告し、プレイブック第2版の目的及び具体的な方策（第1版からの変更点）を報告した。

続いて、プレイブック第3版に向けた課題及びその他の課題を報告した。

続いて、オリンピック大会時、パラリンピック大会時、オリンピック・パラリンピックの合計の大会関係者数をそれぞれ報告し、全ての大会関係者に徹底して頂く行動管理等の内容を報告した。

続いて、大会に向けた医療体制の構築に関し、大会に必要な医療スタッフについては、アスリートの外傷治療や観客の熱中症救護等を主な業務と想定し、コロナ対応に直接従事していない我が国スポーツイベントの経験が豊富な整形外科等の医師を中心に参画を依頼する旨報告し、先般スポーツドクター200名の募集に対し、400名程度の応募があった旨報告した。

続いて、令和3年3月に決定した海外観客断念、大会関係者数の縮減等により、必要とされる医療スタッフの数を合理化する旨報告し、同年6月には観客上限の方針を決定する旨報告した。

続いて、医療スタッフの必要数の精査を行った結果、現時点では当初計画より全体として3割程度の削減を行う旨報告し、合理化のポイントを報告した。また、現在の状況及び更なる取組についても報告した。

続いて、暑さ対策について、大会時における天候の見通しを述べた後、施設設備、飲料供給、予防運営、救護運営、情報提供・注意喚起の各項目に関する暑さ対策の進捗（サマリー）を報告した。

続いて、暑さ対策とコロナ対策の整合について、各会場の実情に応じて運営を検討している旨述べ、その観点を説明した。また、テストイベントでの暑さ対策の検証についても報告した。

続いて、モニターに資料を投影し、テストイベントについて、検査等、衛生管理及びその他のテストイベントの様子を報告した。また、海外アスリートが参加して開催されたテストイベントについても報告した。

続いて、東京2020聖火リレーについて、新型コロナウイルスの感染状況に応じた実施形態で、日本全国で聖火をつないでいる旨報告し、令和3年5月26日の京都府における聖火リレーの状況及び同月27日は滋賀県において、予定どおり公道での聖火リレーを実施する予定である旨報告した。

続いて、東京2020オリンピック聖火リレーの新型コロナウイルス感染症対策の実施について、令和3年3月22日開催の理事会において報告したとおり、安全・安心な聖火リレーを実現するため、「東京2020オリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら聖火リレーを実施している旨報告した。また、聖火リレー関係者について、新型コロナウイルスの陽性者が判明した場合は、その都度公表しており、本日まで累計11名の陽性者が判明したことを公表した旨報告した。なお、この11名は、いずれも当法人や委託先事業者に所属する者ではなく、聖火リレーに参加・協力頂いている組織・団体に所属する方又は個人である旨報告した。新型コロナウイルスの急激な感染状況を踏まえ、聖火リレーの全ての関係スタッフに、あらためて感染予防策の遵守の徹底を求めた旨報告した。また、令和3年3月22日開催の理事会において説明した聖火リレー運営スタッフの感染予防策をあらためて紹介した。

2 外国選手向けの新しい応援の企画について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料1-2記載のとおり、海外観客の受け入れ中止の決定や観客制限が検討される中で、国内外の観客からの応援を会場（選手）に届ける企画として、「国内外の観客からの応援や気持ちを選手に届ける」施策を実施する旨報告し、そのプロジェクトの名称、主催及び内容を報告した。

続いて、モニターに資料を投影し、プロジェクトの内容のイメージや用途及び機会を報告した。

また、応援企画については、関連ステークホルダーとの連携施策も検討している旨報告した。

3 ジェンダー平等／多様性と調和の推進に向けた取組について

議長 の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料1－3記載のとおり、まず、取組を「見える化」するための情報発信として、令和3年5月15日に朝日新聞社主催のオンラインフォーラム「Think Gender 東京五輪にできること」が行われた旨報告し、第一部では、当法人の橋本会長が出演し、国民の皆様の不安を受け止め、コロナ対策を徹底して、安全・安心第一で大会準備を進めていくこと、及び大会を通じて多様性と調和の取組を進めレガシーとして残していくこと等を説明した旨報告した。

続いて、第二部では、「スポーツのジェンダーを語り合う」をテーマにした座談会に小谷スポーツディレクターが出演し、当法人の取組を具体的に紹介した旨報告した。その他、パートナー企業との取組事例共有会等も行った旨報告した。

続いて、東京2020宣言（仮称）について、令和3年5月14日に意見交換会を実施した旨報告し、その参加者及び主なご意見の内容を報告した。

続いて、東京2020宣言（仮称）については、IOC調整委員会において高い評価を頂いた旨報告し、東京2020宣言（仮称）の実施時期については、今後IOC等と協議していく旨報告した。

その後、議長 の指示により進行役は、本日配布した別紙資料2の内容については、当該資料の配布をもって報告したものとする旨報告した。

上記議事の審議が全て終了した後、議長 の指示により進行役は、意見交換に入った。

意見交換では、新型コロナウイルス陽性者の遺伝子解析実施の検討について、選手が新型コロナウイルスに感染した際の精神的なケアについて、選手が濃厚接触者となった場合の隔離ルールと情報の発信について、競技終了後を含めた選手の行動管理の徹底について、選手村における選手の満足度向上のための検討について、競技を終えた選手が外出しなくても楽しめる工夫について、大会関係者の行動ルールとその遵守について、関係者のワクチン接種時の混乱防止について、日本人観客等の人流抑制について、医療体制の準備状況に関する情報の整理・発信について、大会開催に向けた再延期も含めたあらゆる可能性の検討について、競技が延期や中止となった場合の関係者調整について、オリンピック開催に向けた積極的なメッセージの発信について、様々なプロスポーツやスポーツイベントが実施されている状況に対する評価及び情報発信について、ヨーロッパにおけるスポーツイベントの実施状況について、オリンピックムーブメントの意義や平和・難民等に関する情報発信について、短く具体的に安心安全を複数言語で伝えることの重要性について、組織委員会の変化を目に見える形で発信する必要性について、ウェブサイトやYouTubeでの一層の情報発信について及び選手の治療用覚醒剤使用許可に関する法律改正について等の意見交換がなされた。

以上をもって本理事会における全報告事項の報告及び意見交換を終了し、Web会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく終了したので、議長は、午後6時21分閉会を宣した。

上記議事の経過の要領及びその結果を記載し、本議事録を作成し、一般法人法第197条により準用する同法第95条第3項及び定款第36条第2項の規定に基づき、出席した代表理事（会長）及び監事が以下に署名又は記名押印する。

令和3年9月10日

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会